

「浮世絵等の活用に向けた基本計画（改訂版）」（案）に関するパブリックコメント結果について

1 案に関するパブリックコメントの実施結果

(1) 実施結果

① 実施期間：令和5年11月24日（金）～令和5年12月25日（月）【32日間】

② 意見総数：17通 42件

③ 意見の対応区分：

項目	A	B	C	D	E	計
1 「第1章 浮世絵等の活用に向けた基本計画改訂にあたって」に関する事						
2 「第2章 浮世絵ギャラリーの概要」に関する事			1	4		5
3 「第3章 開館からこれまでの運営等の検証」に関する事			2	2		4
4 「第4章 文化芸術を取り巻く状況と浮世絵等の活用の課題」に関する事						
5 「第5章 浮世絵等を活用した取組の方向性」に関する事		1 2	1	5		1 8
6 「第6章 浮世絵ギャラリーの運営計画」に関する事		4	2	4		1 0
7 計画全般に関する事		3		2		5
合計		1 9	6	1 7		4 2

【対応区分】 A:意見を踏まえ反映したもの B:意見の趣旨が案に沿ったもの C:今後の参考とするもの D:質問・要望で案の内容を説明するもの E:その他

(2) 主な意見と本市の対応

① 主な意見

浮世絵ギャラリーの認知度向上に関する意見や、浮世絵の活用の充実に関する要望などが寄せられました。

② 本市の対応

寄せられた意見が、案に沿ったものや、要望であったことから、所要の整備を行った上で「浮世絵等の活用に向けた基本計画（改訂版）」を策定します。

1. 「第1章 浮世絵等の活用に向けた基本計画改訂にあたって」に関すること（0件）

2. 「第2章 浮世絵ギャラリーの概要」に関すること（5件）

No.	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
1	<p>“当事業の必要性”が改めて確認された場合、運営方法について、設置趣旨の近い施設で統合して事業継続することで双方の施設の魅力度アップを図り、収支改善していくことは出来ないか。また、常設の展示場所の必要性等の見直しが必要ではないかと思ます。</p>	<p>浮世絵ギャラリーを整備する際に、「活用の視点」（規模・事業・立地・ターゲット・活用時期）を整理し、多様な施設や機能が集積し、東海道川崎宿があった川崎駅周辺において、建物を新築するのではなく、本市が保有する既存施設での活用とし、東海道かわさき宿交流館と比較した上で現在の場所にて運営することとしました。現時点においても、同一フロアのアートガーデンを活用することで、体験等の作品展示以外の企画も可能であること、JR川崎駅に直結しているため、利便性が高く、「かわさききたテラス」との連携による誘客効果や、東海道かわさき宿交流館との回遊性、京急川崎駅から至近であり、羽田空港からの訪日外国人等の誘客も期待できることから、引き続き、現施設で運営していきます。</p>	D
2	<p>展示室スペースが狭く収容人数が少ないことを理由に採算が取れないと説明があるが、リパークじゃなければならない理由があるのか教えてほしい。</p>		
3	<p>「東海道川崎宿交流館」などに併設すれば来場者や外国人観光客など多数の来場を期待出来ると思ます。</p>		
4	<p>過去三菱一号館美術館への貸し出し等など、コレクション貸し出しによる収益の確保、他浮世絵系美術館との協業による展示内容の充実により鑑賞者数確保等を考えてほしい。</p>	<p>浮世絵等については、公益社団法人川崎・砂子の里資料館から、展示をするために無償で借用していることから、貸出による収益の確保はできませんが、社団法人は浮世絵等の所蔵数が約5,500点と非常に多く、希少性が高い作品も多いことから、社団法人から他の浮世絵美術館等への貸出を行っているため、そうした施設との連携など、入館者増に向けた取組を検討していきます。</p>	C
5	<p>市民ミュージアムはまだ再開されていない状況です。数千点にもものぼる浮世絵のコレクションとジョイントして、新たな美術館に常設として展示室を作ったらいと思ます。</p>	<p>新たなミュージアムについては、令和5年5月に新たなミュージアムの事業展開の方向性や開設候補地等を示した、「新たなミュージアムに関する基本構想」を策定するなど、取組を進めています。</p> <p>浮世絵ギャラリーについては、旧東海道、川崎大師が多く描かれている浮世絵を川崎駅周辺で活用することが文化芸術振興施策を推進する上で効果的と考えておりますので、「第5章1（3）他施設との連携による日本文化の魅力発信」（本編 P23）のとおり、現在、市民ミュージアムが展開している他施設での展示などと連携した取組を進めていきます。</p>	D

3. 「第3章 開館からこれまでの運営等の検証」に関すること（4件）

No.	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
6	<p>駅から浮世絵ギャラリーに至るまでに、期待感を高め、気持ちを高揚させていく空間づくりの工夫が、浮世絵に関心が高くなかった層も含めてこれまでより広く訴求していくためには必要だと思えます。</p>	<p>J R川崎駅から施設への導線における告知物が少ないことは課題と認識していることから、御意見を踏まえ、期待感を高められるような工夫について、施設管理者と調整しながら検討していきます。</p>	C
7	<p>入館料の引き上げを選択肢として完全に排除することは妥当ではなく、引き続き値上げの可能性も常に念頭には置いて継続的に探り続けるべきだと思えます。</p>	<p>入館料については、安定的な運営かつ公共性、文化芸術振興の観点や文化芸術振興会議からの提言、他の美術館の状況を踏まえ、現状では維持することが妥当としておりますが、社会状況等を踏まえ、必要に応じ検討を継続する必要があると考えています。</p>	C
8	<p>収支予測について 入場者数予測に使われた「三菱一号館」「太田美術館」は都内でも極めて利便性の高い場所にある点、元々展示していた“川崎・砂子の里資料館”での入場者実績が示されていない点、また、展示規模の類似性から参考にされた「藤沢浮世絵館」については、開館から1年間の実績しか見えていない点、入館料が“無料”である点より、当初より予測が極めて甘かったと思えます。</p>	<p>基本計画策定時の目標入館者数を想定した考え方については、展示規模の類似性の観点から藤沢市藤澤浮世絵館や、渋谷区にある太田記念美術館を参考にするとともに、本コレクションの他館での展示実績や駅からの利便性、首都圏に近いという立地優位性、東京 2020 大会を背景としたインバウンド効果を見込み、アートガーデンかわさきの年間4万人を超える入館者の回遊性も期待しましたが、想定の見込みが過大であったと認識しています。</p>	D
9	<p>年間の来館者目標が多すぎたという問題は、単純に目標人数を変更するだけではなく、根本的原因の解決が必要だと思えます。</p>	<p>新たな目標入館者数については、これまでの企画展から考察した入館者数や施設規模における鑑賞できる適正な人数及び鑑賞環境の維持などを踏まえ設定しておりますが、目標入館者数を変更するだけではなく、ホームページの多言語化など、入館者増の取組も必要と認識しております。</p>	

4. 「第4章 文化芸術を取り巻く状況と浮世絵等の活用の課題」に関すること（0件）

5. 「第5章 浮世絵等を活用した取組の方向性」に関すること（18件）

No.	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
10	首都圏には、浮世絵を扱ったギャラリーは複数存在しているため、その中で海外からの訪問者に当ギャラリーが選ばれるか極めて疑問です。（同趣旨他1件）	近郊の浮世絵専門の美術館は、太田記念美術館、すみだ北斎美術館、藤澤浮世絵館がありますが、浮世絵ギャラリーは羽田空港に近いという立地の優位性から、訪日外国人の出入国時には最も来やすいと考えています。 取組にあたっては、魅力的な企画展の開催に加え、ホームページやパンフレットの多言語化の充実や良質な浮世絵レプリカの販売等による効果的な誘客の取組を進めていきます。	D
11	川崎市が浮世絵文化を発信しなければならない必然性が伝わりにくいです。何がどのように「川崎の」歴史的な文化資源であるのかを伝えることは、本ギャラリーの存在意義および来訪理由に直結すると思います。（同趣旨他1件）	江戸時代から街道筋として栄えた東海道川崎宿は、川崎の成り立ちを語る上で大切な地域の文化資源であり、街道筋の暮らしや文化を視覚的に伝える資料としても価値があると考えておりますので、浮世絵を通じて、川崎の歴史・文化や、その背景にある日本の産業文化を、しっかりと後世に伝えることで、市民の地域への愛着と誇りの醸成に繋がると考えています。	D
12	「多くの市民、特に経済的、社会的に不利な人たちへの配慮を考える必要がある」という提言への対応が不明瞭に感じます。	誰もが文化芸術に触れる環境づくりを推進するため、経済的、社会的に不利な人たちへの配慮については、「第5章2（4）アート・フォー・オールの実現に向けた取組」（本編 P25）のとおり、無料開館日の実施を検討しております。	D
13	小学生には見学で美術に親しんでもらう、その中に浮世絵があっても良いと思います。歴史の中でも学習してもらえるような環境があると良いと思います。	子どもや若者が身近に良質な文化芸術に触れる場や、楽しめる機会を提供し、感性を育てていくための取組は重要と考えています。 「第5章2（1）未来を担う子どもが文化芸術に触れる機会の創出」（本編 P24）のとおり、学習効果を高める体験機会の拡充など、将来の「川崎の文化」を支える次世代の担い手の育成のための取組を進めていきます。	B
14	浮世絵は外国人にはとても人気があり、羽田空港も近いので、周知することで、多くの外国人を呼び込むことができると思います。（同趣旨他2件）	羽田空港に近いという立地の優位性を踏まえ、日本の歴史的な伝統文化を伝えるとともに、インバウンドの誘客による入館者増に向けた取組が必要と考えています。魅力的な企画展の開催に加え、「第5章2（3）羽田空港のインバウンド需要の回復を見据えた取組」（本編 P24）のとおり、ホームページやパンフレットの多言語化の充実や良質な浮世絵レプリカの販売等により、効果的な誘客の取組を進めていきます。	B

15	市民の方、特に北部地域は、浮世絵ギャラリーを知らない人が多いと思います。各区での巡回展示やイベントでの活用を検討するなど、知っていただくことが大切だと思います。(同趣旨他4件)	浮世絵ギャラリーは、質の高い浮世絵コレクション等に対する評価が高く、リピーターも多い一方、特に北部地域の認知度が低い状況です。浮世絵ギャラリーを多くの人に知ってもらうことは重要だと認識していますので、北部地域をはじめ、レプリカを活用したアウトリーチ等の実施により、さらなる認知度向上に取り組んでいきます。	B
16	もっと浮世絵の知識の普及をすることで、日本文化における浮世絵の重要な位置づけが理解され、価値がわかり、展示や保存等についてもその重要性が広く一般に理解されると思います。浮世絵の講座を設けたり、制作の体験など機会の提供などを通して、市民の財産としての位置付けをしていただきたいと思います。(同趣旨他1件)	浮世絵は、江戸時代の暮らし、風俗、流行など、日本の歴史的な伝統文化を伝える貴重な作品であることに加え、海外の著名な画家にも影響を与えたと言われており、海外からの評価も高く、非常に貴重な地域資源となっています。浮世絵の理解を深めるため、企画展毎に、学芸員によるギャラリートークやイベントに併せた摺り体験などを引き続き実施していきます。	B
17	オンライン展覧会のように、ネットの利用も含めて計画していただきたいと思います。	浮世絵に触れる機会の拡充のため、展示・広報・物販等など、デジタル技術を活用した取組を進めていきます。	C
18	若者に受け入れられるような企画も大事だと思います。	子どもや若者が楽しめる機会を提供することは重要と考えていますので、「第5章2(1)未来を担う子どもが文化芸術に触れる機会の創出」(本編P24)のとおり、摺り体験等の取組を進めていきます。	B

6. 「第6章 浮世絵ギャラリーの運営計画」に関すること(10件)

No.	主な意見(要旨)	市の考え方	対応区分
19	物販は民間事業者に再委託することが、民間のノウハウや知見、ネットワークやインフラを活用することが出来、それは収支面だけでなく、川崎浮世絵ギャラリーの存在を広く発信する面でも有効と考えます。	物販や広報を民間に委託することについては、民間ならではの創意工夫が期待できることから、費用対効果も考慮しながら、検討していきます。	C
20	今回案の想定支出についても、人件費が基本計画、R4年度実績を下回っており、現在の人件費・交通費等の値上がりから考えれば極めて疑問と思わざるを得ないと考えます。	想定支出については、展示替費用や人件費など固定経費が大半を占め、これ以上の削減が困難な状況ではあることに加え、人件費は上昇しておりますが、経営的な視点を踏まえ、運営経費の縮減に努め、効率的・効果的な運営に向けた取組を進めていきます。	D

21	<p>修正された年間の入館者目標 17000 名とありますが、過去実績では「7,800 人～19,700 人」とあり、過去最大人数の 86%は意欲的な目標であると思います。数量的根拠に基づかない目標値を定めることで以降に問題を先送りしているだけだと思います。</p>	<p>目標入館者数については、「第 6 章 1 目標入館者数について」(本編 P26) のとおり 1 日平均入館者数が最も多かった企画展と最も少なかった企画展について、仮に年間 (270 日) を通じて展示した場合の入館者数から、入館者数の範囲を「7,800 人～19,700 人」と算出するとともに、施設規模 (鑑賞スペース約 80 m²) から、一人当たりの鑑賞スペースと開館時間及び鑑賞時間等から約 17,382 人であったことから、17,000 人と設定しています。</p>	D
22	<p>浮世絵ギャラリーは知る人ぞ知るとい状況ではないでしょうか。まずは見てもらう、親しんでもらう機会の提供が必要であり、それを行うためにも、持続的、計画的な展示計画や、保存、周知が必要と考えます。</p>	<p>「第 6 章 5 文化財団による事業計画書の提出」(本編 P30) のとおり、展示計画や広報計画など事業実施等に関する事業計画書を毎年文化財団が作成し、浮世絵の特性を活かした効果的な企画を実施していきます。</p>	B
23	<p>アートガーデンの浮世絵について、入れ替えや特集などがあると思いますが、市報等に掲載されている記憶がありません。周知はとても大切だと思います。</p>	<p>企画展の広報については、企画展毎に市政だよりへの掲載、施設ホームページや公式 SNS による情報発信、近隣類似施設も含めたチラシの配架などを行っておりますが、より多くの市民等に知ってもらうことは大切だと認識していますので、「第 6 章 4 広報」(本編 P30) のとおり、ホームページ等の多言語化や、効果的な P R 施策の研修参加など、引き続き広報の拡充を図っていきます。</p>	D
24	<p>大切な文化財として、川崎市が補助することには賛成です。</p>	<p>浮世絵ギャラリーの安定的な運営を確保し、本市の文化芸術を振興することを目的に補助をしますが、国等の助成金の獲得に向けた取組に加え、引き続き、運営経費の縮減に努め、効率的・効果的な運営に向けた取組を進めていきます。</p>	B
25	<p>町会組織を有効活用して宣伝をしたら良いと思います。</p>	<p>町会の回覧板や掲示板の活用は効果的ではあるものの、町会負担の軽減の取組も本市は進めていますので、実施は困難であると考えています。一方で、より多くの市民等に知ってもらうことは大切だと認識していますので、「第 6 章 4 広報」(本編 P30) のとおり、ホームページ等の多言語化や、効果的な P R 施策の研修参加など、引き続き広報の拡充を図っていきます。</p>	D
26	<p>川崎は都心なので、P R 次第で人が来ると思います。</p>	<p>Web 等を活用した効果的・効率的な広報等により、従来の利用者に加え、新たな層を発掘し、浮世絵ギャラリーの入館者の増加に向け、取り組んでいきます。</p>	C

27	今後のビジョンとしましては、このギャラリーのスペースとコアな展示の性格に見合った集客の対象と目標数を明確に設定し、そのための広報展開を鋭意工夫して、熱心なリピーターやインバウンド来場者を増やして、江戸アート鑑賞の普及についての裾野を広げていくことが求められると思います。	50代から70代の浮世絵の関心が高い層へのアプローチやこれまでの企画展の実績、施設規模から目標入館者数を17,000人と設定しました。 今後は、展示内容やキャプション等の質の高さによるリピーターの確保に加え、羽田空港に近い立地を活かし、多言語対応など、インバウンド来館者を増やす取組を進めていきます。	B
28	川崎市が計画を立て、有効活用することに賛成です。有益な計画を立てたり、それを促進するためには、企画経験豊富な経験者をお願いする事が良いと思います。	運営事業者である川崎市文化財団には浮世絵が専門の学芸員がいますので、効果的な企画展を実施していきます。	B

7. 計画全般に関すること（5件）

No.	主な意見（要旨）	市の考え方	対応区分
29	当事業の必要性について改めて一から検討すべきだと考えます。現行の体制・運営のまま、当事業に年間2,220万円の予算措置を図ることは反対です。	当事業における浮世絵は、本市の文化芸術振興を進めていく上で、貴重な地域の歴史的・文化資源であり、市民をはじめ、国内外からの誘客や回遊性の向上、にぎわいの創出につながると考えています。今後の浮世絵ギャラリーの運営にあたっては、新たに毎年の事業計画書の作成や、定例的に文化財団と市が打ち合わせを行い、課題等を共有して対応していくことなど、入館者増に向け、効率的かつ効果的な運営を行っていきます。	D
30	市が、あの立地に浮世絵のギャラリーを展示しているのかという理由が不明瞭であること、また文化芸術振興会議の指摘事項が事前に全く考慮されていないことを鑑みますと、まるで川崎市から川崎市文化財団に対して予算を確保するための大義名分として本ギャラリーが用いられているようにさえ感じてしまいます。	浮世絵ギャラリーを整備する際に、「活用の視点」（規模・事業・立地・ターゲット・活用時期）を整理し、多様な施設や機能が集積し、東海道川崎宿があった川崎駅周辺において、建物を新築するのではなく、本市が保有する既存施設での活用とし、東海道かわさき宿交流館と比較した上で現在の場所にて運営することとしています。 浮世絵ギャラリーで展示する浮世絵コレクションは、川崎や神奈川にゆかりのある作品を起点に収集された高い郷土性があるため、本市の文化芸術振興施策を推進する上で効果的と考えています。また、文化財団は本市の文化芸術振興の施策を実現する協働のパートナーであることに加え、浮世絵が専門の学芸員がいますので、浮世絵を活用した効果的な取組が実施できると考えています。	D

31	<p>全国でも数少ないまとまった浮世絵を、市民をはじめ、川崎市を訪れる皆さんに拝見する機会を提供することは、日本文化を継承するうえでも重要であり、川崎市民のためのみならず、日本のために必要だと思えます。浮世絵について川崎市が計画を立て、有効活用することに賛成します。(同趣旨他2件)</p>	<p>浮世絵ギャラリーで展示する浮世絵コレクションは、本市の文化芸術振興を進めていく上で、貴重な地域の歴史的・文化資源となっています。浮世絵を活用することは、市民をはじめ、国内外からの誘客や回遊性の向上、にぎわいの創出に加え、アート・フォー・オールの実現にもつながるため、今後も、浮世絵を活用した文化芸術振興を進めていきます。</p>	B
----	---	---	---

2 案からの変更点

用語・用字の修正など、所要の整備を行っています。